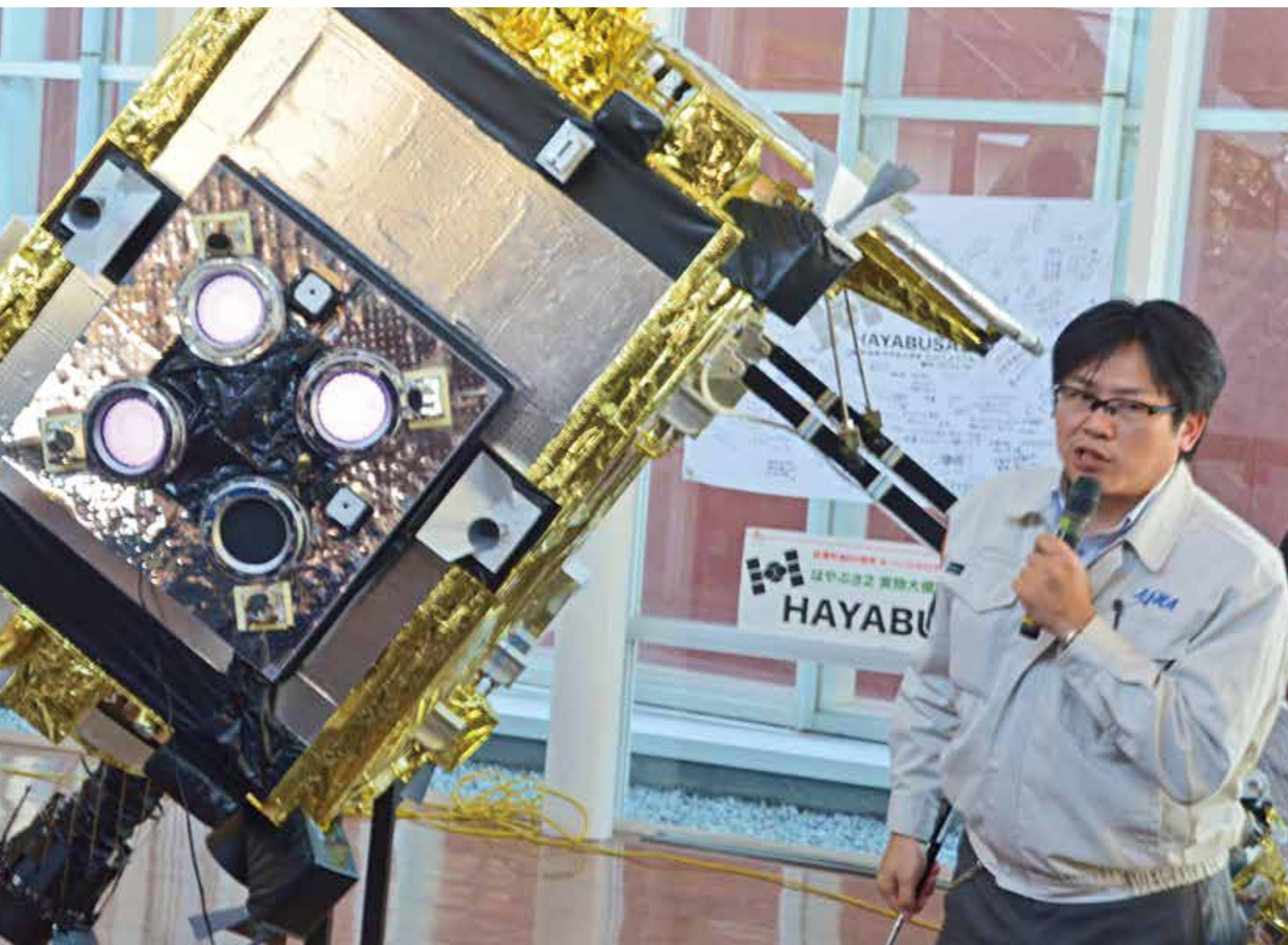


ゆめプラ

だ よ り



新型コロナウイルス危機を乗り越えた先に
～芸術がもたらすものに想いを馳せて～

現状の世界を理解し、 希望を持って前進する

武豊町民会館 館長
竹本 義明



今年になって新型コロナウイルス感染症の急速な拡大が社会に多大な被害をもたらしています。4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発令され、16日には対象地域を全国に拡大しました。

愛知県では5月6日まで県全域を対象として、劇場、集会・展示施設、文教施設が基本的に休止を要請される事態となっています。舞台芸術公演は、密閉・密集・密接という感染症にとって好ましくない条件のもとで上演されることから、予定されていた事業は中止あるいは延期が相次いでいます。

感染拡大を防ぐため外出自粛要請等への協力や、社会機能維持のための事業の継続など、市民の行動変容が求められています。すでに劇場を併設する近隣の文化施設では5月中の休館を決めているところもあります。

この危機はいつ乗り越えることができるか予測ができませんが、過去の歴史が物語るように「現状の世界を理解して、将来へ確固たる希望を持って前を向いて前進する」ということが乗り越える唯一の方法と考えられます。同時に芸術が活力ある社会形成に必要な社会基盤であることを認識し、限られた条件の中で心の支えとして接していくことが望まれています。

あらためて舞台芸術を取り巻く状況について目を向けると、鑑賞者の意識の多様化に伴い、劇場ホールが多目的施設から専用施設として新設されるようになりました。それに合わせて客席数も目的に合わせた収容席数を設置するようになっています。

舞台はICT(情報伝達技術)の発展に伴い、音響や照

明機材の性能向上もあり大きく様変わりしています。そのような中で従来からのオペラ、バレエ、交響楽、室内楽、ジャズと言うジャンルは欧米各国での観光客による集客を除けば、鑑賞者は世界的に減少傾向となっています。

一方で実演によらない鑑賞を支えてきたCDなどの録音物の売り上げが大きく減少し、ダウンロードやストリーミングによる音楽配信が大きく拡大しています。そして、この10年間でポップス関係のライブ公演は3倍にも膨れ上がっています。また、新しい舞台芸術として漫画やアニメ、ゲームなどを原作・原案とした2.5次元ミュージカルが注目を集め、舞台収録した映像パッケージ販売の2次利用も収益を上げています。

今回のコロナウイルス危機により、新しい舞台芸術はさらに躍進することが予想されますが、一方で実演による舞台芸術が見直され、鑑賞への要望が高まることも期待されています。

本館はすでに事業の実施を周知していただくため、実演に伴うワークショップやアウトリーチ活動を実施してきました。そして事業の成功例としてモーニングコンサートやサロンコンサートが毎回満員の観客を迎え地域の文化拠点としての役割を果たしてきました。

それは、実演者が一方的に観客に演ずるのでなく、相互に作用するインタラクティブな舞台を心がけてきたことが影響していると考えています。この活動を維持発展させ地域の活力を生み出し、伝統文化の保全・継承と連携し創造的な地域づくりに寄与できることを願っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国で舞台公演が中止、キャンセルとなり、多くのアーティストたちは、今、激しく揺さぶられています。ゆめたろうプラザも例外ではなく、7月までの公演のほとんどが中止、延期となりました。そんな苦況の中、アーティストの皆様から心温まるメッセージが届きました。

自分が音楽家としてできること…………… 務川慧悟



知多半島の実家で、出かけることもなく、色々な事を考えながら静かに過ごしています。ここ百年で最大のパンデミックの渦中、楽しみにしていた本公演が延期となったことは、悲しくはありましたがやはり、当然の運びだったとも思っています。

この2～30年の間に世の中は、信じられない程の急速なテクノロジーの発展と共に便利になりました。しかしウィルスを前に、結局人間はこんなにも非力なものと、無力さや、ある種の皮肉を感じざるを得ません。それでも今、自分が音楽家としてできることを少しずつ探る日々を送る中で、結局常に自分の前に立ち現れる使命は、とても単純なようですが「よい音楽をすること」。この一点が、結局はあらゆる行動の出発点なのだと、改めて認識しました。この地味な生活の中で、やはり音楽が日常に何度も彩りを与えてくれましたから…

ですから、今やもはや懐かしいくらいに、生演奏というものの価値について思いを馳せています。人間を取り巻く環境やテクノロジーは変わっても、人間の本質はやっぱり古今あまり変わらないということかもしれません。心。それを少しでも音楽を通して皆様にお伝えできますよう、今は日々を着実に過ごしてゆきながら、少しでも早く社会の状況が良くなるように願います。

務川慧悟 ピアノ

ゆめプラサロンコンサート 孤高の志～色彩豊かな表現とあふれるエネルギー～

2021年2月6日(土) 15:00開演
(チケットは完売しています)

元気な笑顔で会いたいね…………… かとうかなこ&田島隆



大好き! な ゆめたろうさんの響きホール。
またお邪魔できるのを、2人でずっと楽しみにしておりました。
今回は、ほんまにほんまに残念でたまりませんが
中止ではなく延期、なので
楽しみが先延ばしになったんや、と自分たちで言い聞かせながら
みなさんとお会い出来る その日を心待ちにしつつ
お互い、心身ともに元気でいようと話しております。
皆さんも、くれぐれも身体にお気をつけて。
必ず、あの素晴らしい響きのホールで
元気で笑顔でお会いできますよう。

田島隆 タンバリン
かとうかなこ アコーディオン

ゆめプラサロンコンサート 愉快 軽快 音楽のびっくり箱～思わず身体が動き出す～

2021年度日程調整中

悔しさを熱いエネルギーに変えて…………… 岩田卓也



来年の2月27日、自分のリーダーバンド「残歌(ざんか)」で出演します。
2016年に結成した「残歌」は、尺八、ピアノ、ギターという珍しい編成のトリオで、メンバーである伊藤志宏、ファルコンとは、音楽だけでなくプライベートでも仲のいい友達です。
この最高のトリオで、自分にとっては地元である ゆめたろうプラザでコンサートができることを、本当に楽しみにしています。
私たち音楽家は、今回のコロナ騒動で、コンサート、Liveができない状況で苦境に立たされています。悔しい思いがたくさんあります。
来年のコンサートでは良い状況になってることを願い、皆様に「残歌」の音楽を届けることができたらと、心から思っています。

岩田卓也 尺八

武豊春の音楽祭2021 残歌ライブ2021「孟春の息吹」

2021年2月27日(土) 17:00開演
チケット第1次発売日:10月3日(土)(ゆめプラメイト限定) / 第2次発売日10月10日(土)(一般・チケットぴあ)



美しいピアノ演奏、大型スクリーンに映し出される数々の名シーン。輝きホールが「のだめ」の世界に！ 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ピアノ版

2020.9.20(日) 14:00開演(13:30開場) 輝きホール 全席指定

不朽の名作「のだめカンタービレ」に登場する名曲を原作の名シーンとともに堪能できる「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」。今回は「のだめカンタービレ」で取り上げられた珠玉のピアノ曲ばかりを集めた「のだめ音楽会」ピアノ版をお届けします！演奏は屈指の実力派ピアニスト高橋多佳子さんです。

出演：高橋多佳子 演奏予定曲：ショパン／幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66

ガーシュウィン／ラプソディー・イン・ブルー 他

【前売】一般3,000円 メイト2,500円 U25(25歳以下)1,500円 ※ゆめプラメイトチケットは1会員2枚まで

【当日】一般・メイト3,500円 U25(25歳以下)2,000円 (セットチケット含む)

チケット発売日 第1次(ゆめプラメイト限定) 6月20日(土) ※未就学児入場不可

第2次(一般・チケットぴあ) 6月27日(土)

Pコード：172-570 ※チケットぴあは前売一般のみ取り扱い

発売延期になりました
(再延期の可能性有)

2020年3月某日。文化フォーラム春日井にて、「のだめカンタービレの音楽会」プロデューサーの小松淳子さんにインタビューをしました。かすがい市民文化財団で企画・制作する仕事をされています。小松さんが、どのように全国規模の人気企画を作っていたのでしょうか。その秘密に迫ります！(聞き手：NPOたけとよ 青木さゆり)



(右 小松淳子さん)

Q.小松さんは、かすがい市民文化財団情報誌「フォーラムプレス」の中で「このマンガを読め!」というコーナーを連載するほどの漫画好きですね。「のだめ」は企画の前から読まれていたのですか？

以前は大分県の文化施設で企画の仕事をしていましたが、結構有名なオーケストラが毎年たくさん来ていました。私はクラシックの担当ではなかったけど、リハーサルの音を聴いたクラシック担当の人たちが「さすがウィーンフィルだね!」と話していても、何がすごいかわからなかったんです。

元々、いろんなことを大好きな漫画から学んできた経緯もあったので、こういうのがわかるクラシックの漫画はないのかなと思っていた時にたまたま雑誌の紹介記事で「のだめカンタービレ」が載っていて、これを読めばクラシックもちょっとわかるかもしれないと思って、読み始めた面白かったんです。そこから月日が経ち、今の春日井に勤めてまもなく、企画案を出す機会がありました。「のだめ」に出てくる曲を集めたコンサートがあったら、私、東京にでも見に行くのにな〜と以前から頭にあったのを思い出し、動き出しました。

Q.春日井にきて企画が動き出し、そこから公演までの間はどれくらいでしたか？

企画から公演までは半年ちょっとでした。企画を一から立ち上げたのは初めてでしたが、作者の二ノ宮知子先生と茂木大輔さん(NHK交響楽団の元首席オーボエ奏者。「のだめ音楽会」オーケストラ版の構成・指揮・解説を担っている。)の交流があること、茂木さんのマネージャーと私が知り合いだったことなど、良いタイミングも重なって話がすぐにまとまりました。「やりましょう!」となったその日のうちに、セントラル愛知交響楽団に電話して、スケジュールも空いていたので1日で企画が決まりました。

Q.漫画を舞台に映し出そうということも同時進行で考えていたのですか？

演奏と漫画と同時に楽しんでもらうことは考えていたけど、はじめはプログラムに、該当する漫画の場面を載せて、見ながら演奏を聴いてもらうようにしていました。でも、クラシックなので、音が重視されるじゃないですか。プログラムをめくる音さえも気になるし、パラパラめくりながら聴くっていうのはちょっとふさふさくなくないと思って。できれば目の前でオーケストラの演奏があって、その後ろにその該当のシーンが映し出されれば、オケも漫画も同時に目で見えるからと思い、公演の一月前からプロジェクターのテストを始めました。

最初は、演奏が始まったら漫画のコマを自動再生していたのだけど、今は楽譜を見ながら、この音になったらこのコマを出すという方法です。演奏と漫画がシンクロしてリンクする瞬間は、まるで映画のように感じられるのではないのでしょうか。

Q.新しい形のクラシックコンサートですね。お客様の反応はどうでしたか？

漫画に出てくるオーケストラのパフォーマンスを、実際に演奏者たちが再現してくれました。そしたら、クラシックって演奏途中で拍手が起こるといふのはありえないじゃないですか？でも、その瞬間、お客様が「わー!」と拍手をしてくれて。それでオーケストラの人達がノリノリになって。ほんとに漫画のワンシーンみたいになりました。

Q.小松さんは今でもずっと映像操作の担当として公演に携わっていますが、制作の人が現場でこういう仕事をするのは珍しいことですか？

コンサートの構成の意図を組みながら音楽に合わせて違和感がないように映像を作っていくことは、相当漫画を読み込んで、音楽を聴かないとできませんから。そこは『のだめ』への「愛」ですかね。「愛」で作っています。

Q.原作「のだめカンタービレ」の魅力はどんなところですか？

作者の二ノ宮先生が音楽を描くことに対して真剣で真摯な態度というか、その描写の数々が、音楽家からみても演奏家から見ても嘘がない。私たちが読んでいて、実際にクラシックの音楽を聴きながら、そのシーンを改めて読むと、「先生が描いたのはこのフレーズだな」

とわかることが時々ある。向き合い方が本当に真剣で嘘がないから、プロの人からも認められるというのが魅力だと思いますね。

あとはギャグとシリアスのバランスが絶妙で、ストーリー展開といい、老若男女、誰もが楽しんで多くの人に愛されている名作だなと思います。

Q.「のだめ音楽会」はオーケストラ版が先駆けでしたが、今回の「ピアノ版」のおすすめポイントを教えてください。

ピアノ版が始まって4年くらいになります。「のだめカンタービレ=のだめの物語」と考えると、主人公のだめちゃんはピアニストですから、ピアノ版の方が、より深くのだめの世界に浸れるのではと個人的には思います。のだめファンにはグッとくる構成なのではないかと。

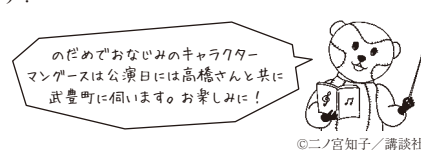
あと、今回のプログラムには、本来オーケストラで演奏されるベートーベンの「交響曲第3番」を、高橋さんがピアノ編曲して演奏されるのですが、ピアノってオーケストラ全てのパートを1人で出来ちゃう、すごく幅広い楽器なんだと気づきました。今までのピアノの概念を覆すような。漫画でも、オケの音がピアノから聞こえる!という表現がありますが、それがリアルに聞けて、ピアノという楽器の奥深さやすごさが強く伝わるコンサートなのではないかと思います。

Q.今回、コンサートで演奏される高橋多佳子さんの魅力はなんですか？

とてもかわいらしい方です。写真だと、キリッとしていらっしゃるお姉さんという印象ですが、実際会って、誰にでも優しくフレンドリーで楽しい方ですね。だけど、演奏はものすごく力強いし、さすがの一言。

『のだめ』に対する愛も高橋さんはとても深い方です。武豊町のコンサートでも、曲の話はもちろん、ちゃんと解説付きで演奏してくださるので、『のだめ』をまったく知らない人も楽しめるコンサートです。

あとはショパン!ショパン国際ピアノコンクールで入賞されている方なので、入賞者の奏でるショパンは必聴です!



©二ノ宮知子 / 講談社

■「のだめカンタービレ」とは

ピアノ専攻で音楽大学に通う「のだめ」と野田恵が、様々な仲間や師、ライバルと出会いながらピアニストとして成長していく物語。原作コミックの人気に加え、実写ドラマ、映画、アニメによって幅広いファンを獲得した人気の音楽漫画。

■「のだめ音楽会」とは

漫画の世界に登場する楽曲を、生の演奏で原作の名シーンとともに堪能できる形式のコンサート。人気を呼び全国各地で開催され、オーケストラ版は2019年6月には100回記念公演を行ったばかり。

メッセーボード

2019年12月7日(土曜日)

ジブリ×ジャズ×ゆめホテル® クリスマスコンサート「JAZZの森」

《アンケートより》

- ・「さんぽ」すごかったです。ジャズになってしまうなんて天才です。それにドレスやタキシードがすごくあっていますし、ピアノをひいている人もみなさんもとてじょうずでした。(10歳未満女性)
- ・音楽を聞く事が好きだったのですが、子供が小さくなかなか機会がなくなってしまいました。住んでいる町でこの様に子供連れでも楽しめ、またチケット代もお得で、子供のコミュニティを通じ(学校・保育園)いろいろな公演がある事を知り、参加する機会を頂きました。これからも子供連れでも気がねなく楽しめる公演をお願いします。(30代女性)
- ・JAZZを普段聴く事もなかったのですが今日は楽しいコンサートでした。毎年、ゆめホテルコンサート楽しみにしています。(40代女性)
- ・今年もゆめホテルに出会えて嬉しいです。ワークショップで頑張って下さった方々に感謝します。ジブリJAZZ、2回目かなと思うのですが、毎回ワクワクします。お言葉に甘えて何枚か写真を撮りましたが…メカより心に焼き付けた方が良いのかもしれませんが。やはり音楽も相まって素敵です。(60代女性)

<担当者より>

幅広い年齢層のお客様にお越しいただき、ありがとうございました。ジャズ、ジブリ、ゆめホテルがjunko with S.B.A.B.の音楽で美しくまとめられ、夢のようなステージで、皆様に楽しいひとときを過ごしていただけたと思います。「ゆめホテル」を使ったコンサートをこれからも続けていきたいです。今年度はサプライズで、ゆめホテルを使った演出のある公演を企画しています。お楽しみに〜。



2019年12月21日(土曜日)

ゆめプラ サロンコンサート2019

塚越慎子「情熱のマリンバ〜太古の響き〜」

《アンケートより》

- ・マリンバ、よかった。打楽器いいね。アウトリーチに呼びましょう。(50代男性)
- ・楽しく、すばしかったです。特に「ボレロ」は志村さんが近くに来て座ってくれるなんて思ってもみなかったです。(50代女性)
- ・優しさ、やわらかさ、力強さ、いろいろな表情をみせて聞かせて頂き、とても楽しかったです。素晴らしい演奏をありがとうございました! マリンバのリズミカルな音にあわせて心が弾みました。鈴と鹿笛ステキでした!(60代女性)
- ・マリンバ奏者=打楽器奏者である事。打楽器=音の出るもの全て(鍋、フライ返し、ボール、泡だて器etc)。そしてそれらを使って演奏された「ボレロ」等盛りだくさんでとても楽しかったです!(60代女性)
- ・「剣の舞」インパクトがありました。いろいろな演奏法があり、楽しかったです。ドレスもステキでした。家に帰っていろいろな物をたたいてみたくなりました。(70歳以上女性)

<担当者より>

キュートな塚越さん、すごくパワフルな舞台でしたね。マリンバだけでなく、曲ごとに色々な楽器をセッティングし、休む間もなく演奏、おしゃべり、マーチング用シロフォンを担いでの客席の練り歩き。ピアニストの志村さんも、ピアノを持って客席を歩いたり、トナカイになって鹿笛を吹いたり大活躍。本当に楽しそうな演奏と盛りだくさんの内容と迫力のステージで、みなさんに楽しんでいただけて嬉しいです。



2019年12月21日(土曜日)・22日(日曜日)

伊勢湾台風STORY「空が落ちてきた日。」

《アンケートより》

- ・災害や被害などについてよくわかりました。やはり台風はいつ起こるかわからないので、怖いと感じました。(10代女性)
- ・感動しました。大切な人に「好き」を伝えようと思いました。(10代男性)
- ・災害後、残された人々の想いや前を向く姿にとっても感動しました。(20代男性)
- ・自分の家族のことなど考えながらたくさん涙を流しながら見ました。一日一日を大切に過ごそうと思います。(20代女性)
- ・写真や資料を見るより心にくるものがありました。今までどこか関係ないことと思っていたけど、防災について改めて考え直すきっかけになりました。(30代女性)
- ・涙が止まりませんでした。たくさんのことを感じましたが、一番は家族を大切にしようと思いました。団員の皆さんもステキでした。(30代・男性)
- ・決して忘れることのできない出来事をより深く心に刻むことで次世代に語り継ぎます。自分の家族を守るため準備をします。ありがとう。(40代男性)
- ・とても泣けました。演技がすごくて心に響きました。辛いことがあっても今、生きている喜びを忘れないようにします。(40代女性)
- ・私はちょうど6年生でした。雨風が強くなって学校から帰って、台風の恐ろしさを知っています。台風の日も知っています。胸にじ〜んときました。(70代女性)
- ・中学生の時に伊勢湾台風を経験して同級生の家が流され、手伝った記憶があり、思い出すたび涙が出ます。この公演で再びよみがえり、涙で見させていただきました。(70代女性)

<担当者より>

伊勢湾台風から60年、当時人々が災害に対して何を感じ、どのように立ち向かったのかそれが直に伝わってくる公演内容でした。入場者数も3日間で約1400名と過去最高に上り、内容もさながら、TAKE TO YOUさんの質の高い演劇に、感動のあまり涙を流されるお客様も見えました。次の定期公演がとて楽しみます。



メッセージボード

2019年12月22日(日曜日)

2019年度 芸術と科学のハーモニー特別講演会

「すごい昆虫を探して世界をまわる」

《アンケートより》

- ・いろいろな虫を見ることができてよかったです。(10歳未満男性)
- ・ラジオで丸山先生のことを知り、お話をきいてみたいと思っていたので今回のこの機会があってよかったです。また呼んでくれるとうれしいです。(20代女性)
- ・小1の息子と来ました。虫のたくさん写真や海外での様子もわかり、楽しかったです。(30代女性)
- ・丸山先生、かっこよかったです!!(10歳未満男性)
- ・一流の専門家のもつ魅力の一端がわかりました。(60代男性)
- ・一緒に旅してみたいです!!たのしかったです!!(30代女性)

＜担当者より＞

昆虫学者として、著名な丸山先生を迎えての講演会でした。マニアックな話から昆虫の面白い生態の話など、豊かな研究に基づいた話を伺う事ができました。舞台上に設置した大型スクリーンに様々な昆虫が映し出され、先生の説明で場内から驚嘆の声が漏れ聞こえました。また、小学生以上の親子歓迎の講演でしたので、大勢の子供たちが参加してくれて、元気に質問し、場内を湧かせてくれました。



2020年1月19日(日曜日)

ゆめプラ サロンコンサート2019

川口成彦「遥かなる時代へ～魅惑の古楽器フォルテピアノ～」

《アンケートより》

- ・ふつうのピアノのとがった音でなく軽い聴覚過敏のある私でも気を楽にして聴けました。うれしかったです。小学生の娘と古典ピアノの修復士の仕事を書かれている児童書をよみ興味をもちました。同じ時代のピアノの音色を聞いてよかったです。(40代女性)
- ・200年前のフォルテピアノが永らえて活き活きと歌っているのを目の当たりにした。川口君は6年前から「ただ者でない」と目をつけていた奏者で、武豊町が呼んでくれたことに敬意を表したい(見る目がありますね)(60代男性)
- ・盛岡の空気のまま、静かな話し方でステキな演奏ありがとうございました。ピアノが愛しくて仕方がないという感じ、時々笑顔も見られ、温かい気持ちにして頂きました。又、ぜひいらして下さいネ。堂々として品のあるピアノにも又会いたいです。(70歳以上女性)

＜担当者より＞

何人ものお客様から「私の息子にしたい♡」とメッセージをいただきました。柔らかに包み込むようなフォルテピアノの音色と、真摯で優しく和やかな川口さん。響きホールごとタイムスリップして、ショパンやベートーヴェンの時代のサロンにいるような錯覚をおこした人は、少なくないと思います。日常を忘れ、ゆったりと、しばし夢のような時を過ごす…まさにホールコンサートならではの醍醐味でした。



2020年1月19日(日曜日)

川口成彦レクチャーコンサート

「今のピアノと何が違う? ショパンの時代のピアノの秘密」

《アンケートより》

- ・フォルテピアノのコンサートは初めてでした。とても温かい音色は川口さんの誠実な人柄とあいまって心に響きました。ワルシャワの春の風を感じました。私もフォルテピアノを弾いてみたいくなりました!!(50代女性)
- ・1800年代の人たちが聴いた音色を楽しむことができ、いろいろ話を聞き、とてもすばらしい時間をもたせていただきました。ありがとうございました。(60代女性)
- ・ショパンの夜想曲、練習曲、ソナタ、とても奥深い音で、今迄聞いたことのない幻想的な感じ、夢の中にいるよう、すばらしいです。シューベルト、音色が色々変わり、おもしろいステキです。(70歳以上女性)
- ・昨年、NHKのBSテレビの特集を見て楽しみにしていました。良い声で丁寧な解説良かったです。芸術的なデザインのピアノは音色が優しくてすばらしかったです。午後のコンサートがますます楽しみです。(70歳以上女性)

＜担当者より＞

ショパン国際ピリオド楽器コンクールで第2位を受賞した川口さんを追ったドキュメンタリー番組が放映されたこともあり、午後のサロンコンサートは早々に完売。宗次ホールさんのお声がけと川口さんのご厚意で、公演日の午前中にレクチャーコンサートを追加開催することができました。丁寧な解説とともに、なかなか聴く機会の少ないフォルテピアノの柔らかな音色を楽しみ、公演後には、芸術的な美しいピアノを間近で見せていただきました。終演後、調律師を目指す熱心な学生さんに、調律をしながら丁寧にお話をしてくださった調律師の梅岡さんの姿も印象的でした。



2020年2月1日(土曜日)・2日(日曜日)

別の自分に出会いたい! part4 ～右来左往 演劇ワークショップ～

《アンケートより》

- ・改めて演技をする表現するということの楽しさを実感しました。思うように芝居が出来なかった時とかに、申し訳ない気持ちになって委縮してしまうことがあったのですが、今後は表現した結果のミスはどんどん演技をよくするための糧として、ポジティブにとらえて臆することなく、100%自分を出し続けていきたいです。
- ・今までにない体験ができた。自分の大きな感情を伴う体験を文章にすることも今までになかったし、誰かの体験をもとに1人芝居をつくって演じるのも初めてだった。演じることは、その役の紹介。その役に失礼のないように、役を考えて深めて、観ている人に伝える。しっかり伝える。どんな役でも、その1人1人はちゃんと生きているという、当たり前のことを毎回やりきりたいです。あー！やっぱりお芝居が好きだー！と改めて思いました。

＜担当者より＞

前半は喜怒哀楽を自然に表現するためのエチュードをやり、後半は他人のエピソードを元に脚本を作り一人芝居を演じるという、とても内容の濃いワークショップでした。発表された作品はみんな予想以上の仕上がりで、オムニバスに仕立てて舞台公演にしたいほどでした。



2020年2月15日(土曜日)

「はやぶさ2」トークライブシーズン2

～リュウグウにて奇跡を起こしたミッションの数々。そして地球へ～

《アンケートより》

- ・しつもんやおはなしにこたえてくれたり、しゃしんをとってくれたのしかった(10歳未満男性)
- ・はやぶさが長い旅を終えて地球に帰還したときの映像を思い出しました。とても感動しました。日本の宇宙開発は世界一だと思います。これからガンバレ(60代男性)
- ・地元の情報と絡み合わせた資料でわかり易く、JAXA内部の人たちの表情がよくわかり、これは絶対、報道では見ることができない、よい企画でした。(60代男性)
- ・この企画はシリーズで行われているので、根強いファンや宇宙に興味を抱く方々が詰めかけて一緒に拝聴できて、とても楽しい気づきや学びの場となりました。会場には小さい人たちも参加しており、このような機会や環境を提供できる武豊町をうらやましく思いました。ありがとうございました。(60代女性)
- ・とても楽しいトークライブでした。お話がお上手で知らなかった事を教えていただき、子供の付き添いでしたが大変ためになりました。(40代女性)

＜担当者より＞

整理券は2日間で配布終了になるほどの人気のはやぶさ2講演会。当日も大勢の方がお越しくださいました。質問コーナーではたくさん時間を設けて、小学生の皆さんの質問に笑顔で答えていただきました。講演では、はやぶさ2実物大模型武豊モデルを舞台にあげて、講師の細田先生による解説もあり、皆さん大満足の講演になりました。今回の講演はライブ中継を行い、インターネット上で見る事ができます。ぜひ、ゆめプラのホームページからご覧ください。



2020年2月22日(日曜日)

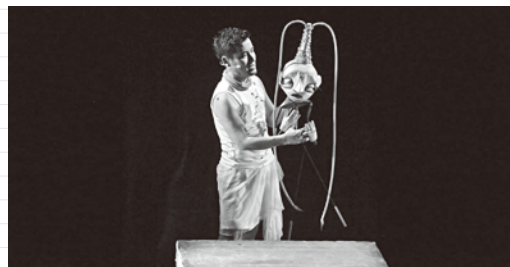
たいらじょう「毛皮のマリー」

《アンケートより》

- ・以前、おはなのハナックを見させて頂き、とても良かったので今回公演を見に行かせていただきました。じょうさんの世界にどっぷり2時間ひきこまれました。演劇はあまり知りませんが、もっともっとじょうさんの劇の世界が見たいと思いました。またぜひ武豊に来て下さることを心待ちにしています。ありがとうございました。(30代女性)
- ・初めてじょうさんの舞台を拝見しました。舞台に慣れていない私には難しいテーマでしたが「暗転」の回を重ねるごとに観客が引き込まれていく感じは何とも言えないものがありました。貴重な経験ができました。ありがとうございました。お歌がとてもステキでした。もっと歌を聞いてみたいと思いました。(30代男性)
- ・毛皮のマリーの話をもっと知ってから見たら良かった。もっと楽しめたと思います。もう一度、勉強した後しっかり見たいと思いました。(40代女性)
- ・はじめて観させていただきましたがすばしかったです。想像力をかきたてるマリーさんや、ないものが見えるシンプルな舞台がこんなにステキなものになったことにおどろき感動しました。またぜひ、ちがう作品も観たいです。(50代女性)

＜担当者より＞

ゆめたろうプラザ初のR15指定の大人向け人形劇の公演でお客様の感想が楽しみでした。皆さま、とても楽しんでいただき大変好評でした。たいらさんの圧巻の一人舞台。美しく、怪しくとても引き込まれました。舞台美術も「毛皮のマリー」の世界観を見事に映し出していました。音楽公演とはまた違った響きホールの雰囲気を感じていただけたかと思います。ぜひ、また大人向けの人形劇を上演したいと思います。





武豊町にあるラーメンスープ液体調味料、健康食品、赤いきつねのカップ麺でもおなじみ、「マルちゃん」ブランドの麺類も製造する食品企業のユタカフーズ株式会社を講師に迎え、うまみの元「だし」について学び、カップ麺を試食しました。

「うま味」を感じる味覚のお話を中心に基本のうま味のコンブエキス、かつお節エキス、しいたけエキスを使って、混ぜることでうま味が何倍にも増すうま味の相乗効果を、味見をしながら体験しました。

地域や人によってうま味の感じ方はそれぞれ違います。食品企業もたくさんの人においしさを届けるために日々研究しています。講座を通して、おいしさを追求する企業の努力も知ることができました。



■お問い合わせ

〒470-2555 愛知県知多郡武豊町字大門田11番地
TEL: 0569-74-1211 FAX: 0569-74-1227

<http://www.town.taketoyo.lg.jp/kaikan/>

●休 館 日／月曜日（祝祭日の場合は、翌平日）及び年末年始

●受付時間／午前9時～午後9時



■交通アクセス

- 名鉄河和線 知多武豊駅より徒歩20分
- J R 武豊線 武豊駅から徒歩25分
- 知多半島道路 武豊 ICより車で5分